

2023年度の維持管理活動計画

【目次】

1. 2023年度の維持管理活動計画（案） P2
2. 維持管理作業（3月22日(水)）の計画（案）（協議会実施分） P3
3. 維持管理作業4月分について P5
4. 維持管理作業（5月20日(土)）の計画（案）（一般募集分） P6
5. 維持管理作業（6月14日(水)）の計画（案）（協議会実施分） P7
6. 維持管理作業（6月17日(土)）の計画（案）（一般募集分） P8
7. チガヤ草地の再生計画（案） P9

【ご注意】

本資料は、生態系保護の観点から生物の位置に関わる情報などは非表示としています。
ご了承下さい。

1. 2023年度の維持管理活動計画

●2023年度6月までの維持管理については、以下の活動を実施する予定です。

- 上池
 - ・上池旧流路整備地およびモトクロス場跡地整備地Aのオオカワチシャは5月作業時に繁茂が拡大していることが確認された場合、実施します。
- 中池
 - ・セブンイレブン記念財団にはオギ群落とサクラソウ群落再生地、(株)サイサンには河畔林・河原草地を中心に、連携し外来植物の除草を行います。
 - ・チガヤ草地では一般ボランティアとチガヤ草地創出に向けた活動を実施します。
- 下池
 - ・昨年度確認したハンノキ幼木周辺の維持管理を行うとともに、市民参加型ミドリシジミ調査を試行します。

巡視(2023年1月18日開催)にて承認された「2023年の維持管理計画」に基づき、維持管理活動を行います。

地区・管理対象			維持管理	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	備考	
上池	①旧流路整備地	1. 呑口	ゴミ除去・周辺の除草：5月、9月の2回(出水期前と台風シーズン前)					(10日 水)	(14日 水)			13日 (水)				協議会実施	
		2. 導水路	通路付近の除草：適宜														必要に応じて協議会実施
		3. 整備地	植生管理(オオカワチシャの除去等)：5・6月の開花時期に1回						10日 (水)	14日 (水)							協議会実施
	②モトクロス場跡地整備地	1. 通路	管理用通路の除草：適宜														本田航空が適宜実施
2. 整備地		植生管理(オオカワチシャの除去等)：5・6月の開花時期に1回 植生管理(オオバクサ、アレチウリ、セイタカアワダチソウ、シンジュ、ハリエンジュ、クワ、在来つる性植物(カナムグラ・クズ)の除去等)：9月・11月 オギの除去・土壌攪乱(目録種再生)：必要に応じて12月に実施						(10日 水)	(14日 水)			(13日 水)		(8日 水)	(13日 水)	協議会実施	
中池	③チガヤ群落		植生管理(機械除草)：必要に応じて													本田航空が適宜実施	
	④オギ群落		植生管理(外来種、在来つる性植物(カナムグラ・クズ・ツタ類)の除草)：4月・5月・6月・9月・10月・11月				8日(土) 19日(水)	20日(土)	14日(水)			16日(土)	11日(水)		2日(日)	協議会・一般参加者・協働企業等が実施	
	⑤サクラソウ群落		植生管理(移植候補地の外来植物除草・ヨシ・タケの伐採等)：4月～10月に毎月 冬刈り：11～1月に毎月			22日(水)	8日(土)	20日(土)	14日(水)			16日(土)	11日(水)		2日(日)	協議会・一般参加者・協働企業等が実施	
	⑥河畔林・河原草地		植生管理(外来種、在来つる性植物(カナムグラ・クズ・ツタ類)の除草・タケの伐採等)：4月・5月・6月・9月・10月・11月				19日(水)	11日(木)	14日(水)			16日(土)	11日(水)		2日(日)	協議会・一般参加者・協働企業等が実施	
	⑦その他保全エリア・通路		植生管理(外来種、在来つる性植物(カナムグラ・クズ・ツタ類)の伐採)														必要に応じて協議会、本田航空が適宜実施
下池	⑧整備地	ハンノキ移植地・幼木確認場所	移植したハンノキや幼木周辺の除草：6月、9月 幼木の移植：2月						17日(土)			16日(土)				協議会実施	
		⑨看板	看板周辺の除草：イベント前に適宜対象箇所を実施														協議会実施
全体	維持管理検討のための巡視		巡視ルートを巡視し、維持管理活動の内容を検討する	18日(水)												協議会実施	

●：日程未定のもの

()：現地の状況に応じて、必要があれば実施

緑字：連携主体による活動(実施前に作業が発生する場合があります)

---：実施なし

□：実施済み

□：巡視提示箇所からの変更箇所

ハンノキ幼木の移植を検討していましたが、巡視での協議結果により、再検討することとなりました。

一般ボランティアを募集する予定であることから、土曜日で設定しました。

2. 維持管理作業（3月22日(水)）の計画（協議会実施分）

- 対象：(1)中池保全エリア・サクラソウ群落再生地/オギ群落/河原草地を作業対象とします。
- 目的：
 - ・（2021年度のサクラソウの発芽が確認された場合）生育が状況が芳しくない2021年度移植株を、より適地に移植するとともに、環境条件等の要因調査をしていくことで、サクラソウ群落再生を目指します。
 - ・過年度に作成した中池維持管理カレンダーにのっとり、4月の埼玉セブンの森とサイサン新人研修時に行う維持管理に向けた現地確認と、作業地へのアクセス確保など下準備を行います。

<1>中池保全エリア・サクラソウ群落再生地

- ・2021年度に植栽したサクラソウの移植と土壌条件のデータ収集
- ・竹の伐採範囲の確認と竹林周辺の枯草やノイバラ等の除去（4月の埼玉セブンの森活動の下準備）
- ・外来種の繁茂状況の確認（4月の埼玉セブンの森活動）

【スケジュール】

時刻	時間	内容	
9:30		中池管理用通路入口集合	
9:30~9:40	10分	予定確認・班分け	
9:40~9:50	10分	移動	
9:50~11:15	85分	<1>サクラソウ群落再生地	<2>オギ群落/河原草地
		①サクラソウの移植 ②竹林周辺のノイバラ等の除去 ③外来植物繁茂状況の確認	①「埼玉セブンの森」看板の補修 ②オギ群落の状況確認と適宜整備 ③河原草地の竹林周辺の状況確認
11:15~11:25	10分	移動	
11:25~11:30	5分	中池管理用通路入口集合・作業状況の共有・解散	
※作業終了後、時間の余裕がある場合		中池エリア東側の耕作の進んでいる場所の視察	

<2>中池保全エリア・オギ群落/河原草地

- ・「埼玉セブンの森」看板の補修
- ・オギ群落の周辺の外来種繁茂状況等の状況確認と作業エリアのノイバラ等の除去（4月埼玉セブンの森活動とサイサン新入社員研修の下準備）
- ・河原草地の竹林周辺の外来種繁茂状況等の状況確認（4月サイサン新入社員研修の下準備）

作業場所

非表示

2022年5月24日UAV空撮

2. 維持管理作用（3月22日(水)）の計画（協議会実施分）

サクラソウ移植の詳細

中池保全エリア・サクラソウ群落再生地

作業範囲

中池

移植場所

非表示

非表示

3. 維持管理作業 4月分について

●令和4年度の維持管理計画では、4月はサクラソウ群落再生地や河畔林・河原草地の竹の伐採と外来植物等の除草、オギ群落の外来植物等の除草を計画していましたが、今年度は「埼玉セブンの森」環境保全活動や（株）サイサン新入社員研修において作業を担ってもらう予定となっています。

⇒委員会での作業は実施しないことを提案します。

※4月の連携・協働主体による作業に先立ち、3月22日(水)実施予定の維持管理作業で、下準備を行います。

エリア	内容	作業のタイミング
オギ群落	外来種（アレチウリ等）の除草	4/8(土)「埼玉セブンの森」環境保全活動・ 4/19(水)サイサン新入社員研修において実施
サクラソウ群落再生地	竹の伐採 外来種の除草（セイタカアワダチソウ、アレチヌスビトハギ等）	4/8(土)「埼玉セブンの森」環境保全活動において実施
河畔林・河原草地	竹の伐採 外来植物（セイタカアワダチソウ、アレチヌスビトハギ等）の除草	4/19(水)サイサン新入社員研修において実施

4. 維持管理作業（5月20日(土)）の計画（一般ボランティア募集）

- 対象：中池保全エリア・サクラソウ群落再生地/オギ群落（オギ植栽地周辺）/チガヤ草地を作業対象とします。
- 目的：
 - ・夏場のつる性植物、外来植物の繁茂の抑制を図るため、除草を行います。
 - ・チガヤ草地の創出に向け、チガヤの株の移植と昨年度移植株のモニタリングを行います。
- 実施日：2023年5月20日(土) ※一般ボランティア募集のため、参加しやすい土曜日に設定しています。
- 参加費：100円（保険代）
- 体制：協議会と一般ボランティア
- 広報：①チラシ ②ウェブ（ボランティア情報サイト、協議会サイト・FB等） ③過去に参加した一般ボランティアへのダイレクトメール ④新聞
 - ※チラシ設置場所：自治体ボランティアセンター、自治体公共施設、北本学習センター、アリオ上尾、桶川西高校、高校生物部等
 - ※チラシ等に希望する生徒や学生にボランティア証明書を発行する旨を記載します。
- その他：作業前に、自然再生地を知ってもらうためのガイドツアーを行います。

作業①中池保全エリア・サクラソウ群落再生地/オギ群落

- ・サクラソウ群落とオギ群落のクズなどのつる性植物やアレチウリなどの外来植物を除草します。

資材：鎌、ブルーシート

作業② 中池保全エリア・チガヤ草地

- ・本田航空敷地内にてチガヤの株を掘り取り、自然再生地まで運びます（3人程度）。
- ・昨年度に移植したチガヤの生育状況をモニタリングします。
- ・掘り取ったチガヤの株を移植します。

資材：スコップ、鎌、ブルーシート、バケツ、杭、リボン

作業場所



2022年5月24日UAV空撮

【スケジュール】

時間	プログラム内容
8:30~9:00	倉庫から資材搬入
9:00	集合・ミーティング・受付設営
9:15~9:30(15)	受付
9:30~9:40(10)	■開会【中池入口】 ・集合および開会アナウンス：運営事務局 ・挨拶：堂本委員長 ・自然再生事業の取組紹介：堂本委員長 ・予定/注意事項説明/スタッフ紹介：運営事務局
9:40~9:50(10)	移動（中池入り口→中池 オギ群落）
9:50~10:10(20)	■自然再生地（中池エリア）のガイドツアー ・自然再生地や協議会の取組について紹介
10:10~11:00(50)	■外来植物等の駆除【サクラソウ群落再生地】→【オギ群落】 ・作業内容の説明：運営事務局 ■チガヤ株の掘り取り【本田航空敷地内】 ・作業内容の説明：運営事務局
11:00~11:20(20)	■昨年度移植株のモニタリング【チガヤ草地】 ■チガヤの移植作業【チガヤ草地】 ■記念撮影【チガヤ草地】
11:20~11:25(5)	■閉会【中池入口】 ・挨拶：堂本委員長 ・事務連絡：運営事務局
11:25~11:30(5)	■アンケート記入【中池入口】
11:30	解散
11:30~	会場片付け、資材搬出

5. 維持管理作業（6月14日(水)）の計画（協議会実施分）

- 対象：(1)上池・旧流路整備地 (2)中池保全エリア・サクラソウ群落再生地/オギ群落/河畔草地を作業対象とします。
- 目的：(1)・旧流路整備地に侵入しているオオカワヂシャの除草を行います。
(2)・各対象エリアともに、外来植物やつる性植物の除草を行います。
- 体制：上池整備地と中池保全エリアの2班体制で行います。

(1)上池

- ・オオカワヂシャの除草

(2)中池保全エリア

- ・オギ群落のつる性植物や外来植物等の除草
- ・サクラソウ群落再生地のつる性植物や外来植物等の除草
- ・河畔草地のつる性植物や外来植物等の除草

【スケジュール】

時刻	内容	
9:30	中池管理用通路入口集合	
9:30~9:40(10)	予定確認・班分け	
9:40~9:50(10)	移動	
9:50~11:15(85)	(1)上池	(2)中池保全エリア
	オオカワヂシャの除草	①オギ群落の外来種等の除草 ②サクラソウ群落再生地の外来種等の除草 ③河原草地の外来種等の除草
11:15~ 11:25(10)	移動	
11:25~11:30(5)	中池管理用通路入口集合・作業状況の共有・解散	

作業場所

非表示

6. 維持管理作業（6月17日(土)）の計画（一般ボランティア募集）

- 対象：(1)下池エリア・ハンノキ林整備地を作業対象とします。
- 目的：
 - ・昨年度確認したハンノキ幼木の生育を促進するため、幼木に絡みつくる性植物や周辺の外来植物等の除草を行います。
 - ・モニタリングの今後の担い手確保を狙い、参加者によるミドリシジミ生息状況調査を実施します。
- 実施日：2023年6月17日(土) ※一般ボランティア募集のため、参加しやすい土曜日に設定しています。
- 参加費：100円（保険代）
- 体制：協議会と一般ボランティア
- 広報：①チラシ ②ウェブ（ボランティア情報サイト、協議会サイト・FB等） ③過去に参加した一般ボランティアへのダイレクトメール ④新聞
 - ※チラシ設置場所：自治体ボランティアセンター、自治体公共施設、埼玉県自然学習センター、アリオ上尾、桶川西高校、高校生物部等
 - ※チラシ等に希望する生徒や学生にボランティア証明書を発行する旨を記載します。

作業①下池エリア

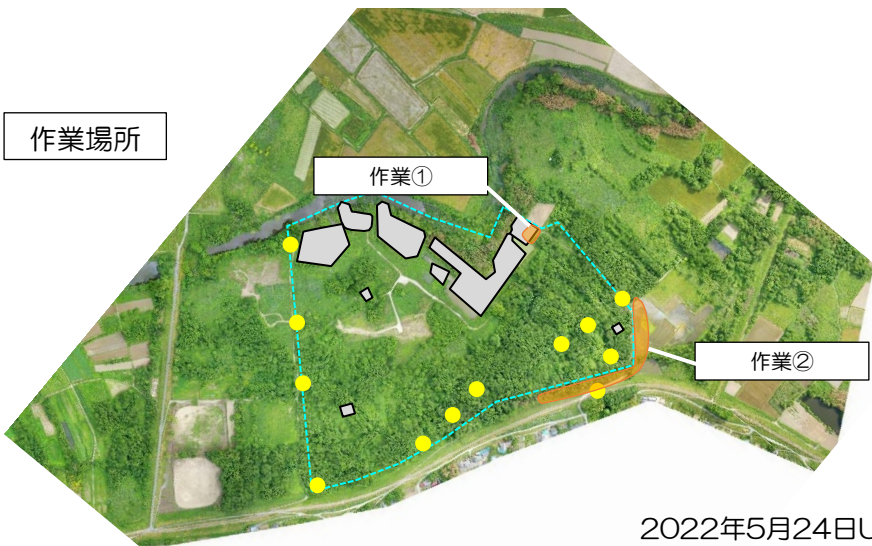
- ・ハンノキ幼木周辺の除草を行います。
- 資材：鎌、ブルーシート、ピンクテープ

作業② 下池エリア

- ・過去にミドリシジミの飛翔が確認されているハンノキ林において、定点を設定し、一定時間（10分程度）、参加者に飛翔するミドリシジミを確認/記録してもらいます。

資材：記録用紙、画板、筆記用具、ピンクテープ、捕虫網、虫かご、虫除け

作業場所



2022年5月24日UAV空撮

【スケジュール】

時間	プログラム内容
13:30~14:30	倉庫から資材搬入
15:00	集合・ミーティング・会場設営
15:30	受付開始
15:30~15:50(20分)	車で現地付近へ移動、その後作業現場地まで徒歩移動)
15:50~16:00(10分)	<ul style="list-style-type: none"> ■開会【作業現場付近】 ・集合および開会：運営事務局 ・挨拶：川島委員 ・自然再生事業の取組紹介：堂本委員 ・予定/注意事項説明/スタッフ紹介：運営事務局
16:00~16:35 (35分)	<ul style="list-style-type: none"> ■説明【作業現場】 ・作業内容の説明 ・除草作業 ■記念撮影【作業現場】
16:35~16:45(10分)	休憩・移動
16:45~17:15(30分)	<ul style="list-style-type: none"> ■ミドリシジミの生息調査【ハンノキ林付近】 ・ミドリシジミの説明と観察：〇〇委員 ・参加者によるミドリシジミの個体数調査
17:15~17:20(5分)	<ul style="list-style-type: none"> ■閉会【ハンノキ林付近】 ・挨拶2分：堂本委員 ・事務連絡1分：運営事務局
17:25~17:30 (5分)	■アンケート記入【ハンノキ林付近】
17:30~17:35(5分)	車へ移動（徒歩）
17:35	解散・車で集合場所付近へ移動

7. チガヤ草地の再生計画（案）

● 経緯：

- ・2022年5月18日に、一般ボランティアを募って行った維持管理作業の際に、チガヤ草地に2か所のコドラートを設置し、本田航空株式会社の敷地にあるチガヤ群落より掘り出したチガヤ27株を移植しました。*本田航空(株)様の事前承諾の元実施しています。
- ・2022年9月28日に、第47回維持管理・環境管理専門委員会にて、チガヤ草地を広範囲で効率的に創出する選択肢として、チガヤマットの導入を提示しました。

● 現況と課題：

- ・昨年度9月の段階で、移植したコドラート内のチガヤの活着は確認できていました。今年4月以降にその後の生育状況や根茎からの広がり状況を確認します。
- ・チガヤマットの導入には作業工数の簡素化のメリットもありますが、資金が必要となります。現在、助成金など資金獲得の目途はたっていません。

⇒以上のことから、2023年度は下記の方針を進めることをご提案します。

● 目的：

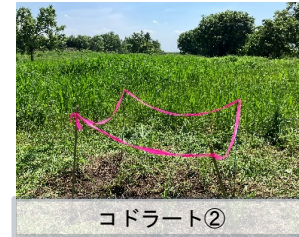
チガヤ草地創出を目指し、まずは昨年度試行したことの検証を行ないます。あわせて、昨年度の試行を継続し、新たに過年度移植地周辺にコドラートを設けてチガヤの移植と生育・繁殖状況のモニタリングを市民参加で行います。効果や効率性などを検証し、チガヤマットの導入を含めて、今後の進め方について検討します。

①昨年度移植したチガヤの生育状況・広がり状況の確認・・・5月の一般ボランティアを募集する維持管理活動にて、結実状況などを確認します。

②新たなチガヤ移植地（コドラート）の設定と株の移植・・・5月の一般ボランティアを募集する維持管理活動にて、新たに移植を行います。

③移植したチガヤの活着状況の確認・・・・・・・・・・・・・・6月以降の維持管理活動時に生育状況を確認します。

【2022年5月18日チガヤ移植】



移植場所

- ・コドラートは、維持管理の都合からアクセスしやすく、また、来場者の目にとまりやすい2地点、北側と南側に離して設置しました。

